

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	158	
事務事業名		会計	一般会計			
		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画					
	分野別計画			飯田市環境基本計画(21'いいだ環境プラン)		
				飯田市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画		
				飯田市分別収集計画		
	法令・例規等			廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
			循環型社会形成推進基本法			
事業目的		対象	市民			
		意図	リデュース(発生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再生利用)の推進			

2 事業内容

2年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	<p>本年度から新たに蛍光管のリサイクル回収事業を開始しました。回収方法は、市内蛍光管販売店を「協力店」として登録し、市民が持ち込み、これを市が回収します。一旦グリーンバレー千代に貯留した後、再資源化事業所に搬出します。7月から回収を始め、年度中2回搬出しました。</p> <p>稲葉クリーンセンターから発生する焼却灰の再資源化処理を継続して取り組みました。最終処分場の延命と、環境負荷の低減に大きく貢献しています。</p> <p>生ごみ処理機器購入費補助制度について、補助額を増額するなど一部を見直し、強化しました。結果希望者が増加し、事業が拡大しました。</p>		3R周知啓発関連経費			2,049		
			ごみ処理費用負担制度関連経費			17,213		
			資源回収事業補助金			648		
			焼却灰再資源化処理事業			69,904		
			容器包装リサイクル回収業務関係経費			49,177		
			リサイクルステーション管理事業経費			2,816		
			生ごみ処理機器購入費補助金関連経費			2,306		
			会計年度任用職員			6,601		
			その他の経費				0	
活動指標			指標名(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			計画	実績	計画	実績		
	市民一人あたりが1日に排出するごみの量	g	559	557	548	572		
	資源ごみ(プラ)収集運搬日数	日	48	48	48	48		
	資源ごみ(金属)収集運搬日数	日	24	24	24	24		
	リサイクルステーション開催日数	日	48	48	48	48		
2年度 決算 (千円)	予算額	157,309	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	150,714	(そ)ごみ処理手数料 110,824千円					
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ)古鉄売却代 1,894千円				
		県支出金	0	(そ)古紙売却代 5,313千円				
		地方債	0	(そ)ガラスびん売却代 35千円				
		その他	123,121	(そ)ペットボトル再商品化還元金 1,755千円				
一般財源	27,593	(そ)ふるさと寄附金 3,300千円						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	2	1	10	1	92,339	89,814	ごみ減量対策費
2	1	4	2	1	10	2	56,044	51,993	容器包装リサイクル事業費
3	1	4	2	1	10	3	2,316	2,306	生ごみ処理機器購入費補助事業費
4	1	4	2	1	1	3	6,610	6,601	会計年度任用職員人件費
5									
6									
7									
振返り課題認識		「燃やすごみ」の微増の状態が続き、また組成調査の結果から、再資源化可能な容器包装プラスチックや紙類が混入している実態が、改善されていません。							
上記の課題解決のための有効策		繰り返しの啓発が必要です。特に「ごみ処理手数料」の理念と、リサイクルの推進についてを合わせてご理解いただくことにより、ごみ減量・リサイクルを推進していきます。							
次年度に向けての取り組み		ごみ分別アプリの導入促進などにより、普及啓発に取り組んでいきます。							